

救缶鳥についてプレゼンテーションをして頂きました

全国学生英語プレゼンコンテスト

小松さん萩原さん 優秀賞



同コンテストには大興支援「自社商品ア学や専門学校から63に都内で開いた本選には1次、2次予選を通「も・て・な・し」改過した個人5人、グループ5組が出場し、世に目を向け思考す

県女大生2人 備蓄食を紹介

第3回全国学生英語プレゼンテーションコンテスト(神田外語グループなど主催)で、共に県立女子大国際コミュニケーション学部3年の小松晴香さん(22)と萩原梢さん(21)が最高賞の最優秀賞(個人の部)に次ぐグループの部優秀賞を受賞した。

は、企業経営者の立場の部で出場したが、共になつて自社商品を世に2次予選で敗退し界に売り込もうと、パ・アキモト(栃木県那須塩原市)が製造販売するパンの缶詰を英語で紹介した。生地を缶に入れて焼く独自製法で製造日から約3年間保存できる商品だ。2人は①備蓄食として優れる②調理せずに食べられる③柔らかくておいしいの3点を、ステーションで実際にパンを食べるパフォーマンスを交えて強調した。国内外の学校に製品を購入してもらい、保存中に災害が起きなければ飢餓に苦しむ国に贈る取り組みを示し、「システムが根付けば世界にとって利益になる」と訴えた。第2回大会にも個人

全国学生英語プレゼンテーションコンテストで優秀賞を受賞した小松さん(左)と萩原さん

の部で出場したが、共再挑戦を決めた。企業への取材や原稿作り、ビデオでの発表態度の「努力したから出会えた人や見えた世界があった。努力の大切さを小松さんは「何事に学んだ」と話した。

全国学生
英語プレゼンコンテスト
優秀賞!